

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3344		
科目名	コミュニケーション英語 4		
担当教員	平川 登紀		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 3		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3-G [状況把握力・判断力] 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP3-H [論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 G1 状況把握 (40%) H1 論理的思考 (40%) H2 批判的思考 (20%)		
教員の実務経験	米国の大学院で犯罪法学(Criminal Justice)修士を取得後、日本の財団法人空港保安事業センターで保安検査員の教育・監査業務を行いながら、JICA（国際協力機構）プロジェクトへ参画し、インドネシア等の空港セキュリティのサポートを行いました。その後、博士課程に進み、実務経験を踏まえた航空セキュリティの研究を開始し、国内外の学会で論文を発表しました。現在は、バングラデシュ等の国際プロジェクトのサポート、エジプトやイラク等テロの脅威がある国に駐在する邦人への勉強会、日本国内のセキュリティセミナーなども行っています。私自身の留学時代の失敗や国際協力事業での反省も講義に織り込みながら、学生たちには英語ライティングの必要性を学んでもらいたいと思います。（第2回・第5回・第11回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージと対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	危機管理の専門家に求められる国際的発信力を強化するための英語専門科目であり、主として英語によるスピーキングとライティングの発展的スキルを養うための授業を行います。本講義では、コミュニケーション英語3の授業をさらに発展させた、より高いレベルの実用的、応用的なライティング力を養う授業を行います。危機管理の専門的な内容に関連したトピックを取り上げ、より自然な表現で英文を書いていく練習から、さらにはパラグラフ・ライティングといった発展的な練習を行います。発展的な内容を扱うために選抜制をとり、レベル別クラス編成（上級・中級）を実施し、学習効果を高めます。授業形態は演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型）を取り入れます。 ■キーワード：パラグラフ・ライティング・要約・斜め読み		
授業の趣旨	■副題 専門的なライティングに慣れましょう。 ■授業の目的 英語の論文や国際機関の条文等、専門的な文章を読み、それらを他の人に伝えるために要約したり、自身の意見を英文で作成することができるようになることが目的です。 ■授業のポイント		

	授業では危機管理に関する論文や各国政府のセキュリティ情報、さらに国際機関発行の文章を日本語・英語の両方で要約し他の人に伝えたり、自分の意見を加えて述べるためのライティング技術を学びます。英語で書かれた文章だけではなく、日本語で書かれた文章を英語にし、海外へどのように発信するかも授業のポイントになります。また、英語でのパワーポイントの資料作成方法も学びます。								
総合到達目標	■国際的発信力に求められるライティング能力を高めるために、危機管理に関する文献を読み、専門的な文章作成の技術を習得する。 ・危機管理に関する英語の記事を読み、辞書がなくても内容を取ることができる。（第2～4回） ・英語でパワーポイントの資料を作成できる。（第5～6回） ・英語の論文や条約の内容を理解し、伝えることができる。（第7～8回） ・専門的な論文等を要約し、短い文章で内容を伝えることができる。（第9～10回） ・日本語の論文や政府発表資料を要約し、英語で国際社会へ発信することができる。（第11～14回）								
成績評価方法	■宿題型ミニ・テスト4回（40%）：適用ルーブリック G1・H1・H2 （評価の観点）危機管理に関する英文または日本語文章を読み、日英両方の要約を作成したり、感想を英文で書くテストです。必要な用語が使われているか、内容を理解しているか、文法的に間違いはないかを確認し、自分以外の誰かに内容を正確に簡潔に伝えることができているかを評価します。 （フィードバックの方法）テスト返却日に模範解答を示し、要約に必要なポイントをおさらいをします。 ■課題2回（60%）：適用ルーブリック G1・H1・H2 （評価の観点）危機管理に関する文章を読みパワーポイント資料を作成する課題と、レポートを読みその講評を書く課題の2種類です。どちらも伝えるべき内容が含まれているか、文法的に間違いはないか、相手を引き付ける要素を含む資料となっているかを評価します。パワーポイント資料については時間配分を考慮した構成になっているかも評価します。 （フィードバックの方法）返却日に模範資料を示し、パワーポイント作成時およびレポート作成時のポイントをおさらいします。								
履修条件	コミュニケーション英語3を受講していること								
履修上の注意点	辞書を持ってくること								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ 授業ガイダンス・問題演習。 ②授業概要 ガイダンスでは、授業の全体構成、授業の目的と進め方、到達目標、成績の評価方法について説明する（30分）。その後、短い文章を使って演習を行う。内容を確認し、日本語で要約を作成することができる(G1)。 ③予習（60分） シラバスを読み、授業全体の流れを確認する。 ④復習（60分） 授業を振り返り、授業の目的と到達目標に加え、本講座の受講目標をまとめる。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 専門用語 ②授業概要 危機管理に関する英語文献やニュースを読み、犯罪やテロ等に関する専門的な用語とその使い方を学ぶ。 担当教員の実務経験を踏まえて、訳し間違いをしやすい語彙について説明する。辞書がなくても記事内容をおおまかに理解することができる（G1）。 ③予習（60分）第1回宿題型ミニ・テスト 2回目の授業で学んだ専門用語が出てくる記事を読み、短い和訳をつける問題。 ④復習（60分） 授業で学んだ語彙や表現方法を使って英文を作成する。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 長文に慣れる（1） ②授業概要 2～3ページの英語の文献を読み、内容のポイントをつかむ(G1)。記事のキーワードを抜き出し、その記事の内容を日本語でおおまかに理解することができる（H1）。 第1回宿題型ミニ・テストのフィードバックを行う。 ③予習（60分） 英文の危機管理関係のレポートを辞書を使わずに読む。 ④復習（60分） 授業で使用した資料を読みなおし、単語を調べながら内容を確認する。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ 授業ガイダンス・問題演習。 ②授業概要 ガイダンスでは、授業の全体構成、授業の目的と進め方、到達目標、成績の評価方法について説明する（30分）。その後、短い文章を使って演習を行う。内容を確認し、日本語で要約を作成することができる(G1)。 ③予習（60分） シラバスを読み、授業全体の流れを確認する。 ④復習（60分） 授業を振り返り、授業の目的と到達目標に加え、本講座の受講目標をまとめる。	2	①授業テーマ 専門用語 ②授業概要 危機管理に関する英語文献やニュースを読み、犯罪やテロ等に関する専門的な用語とその使い方を学ぶ。 担当教員の実務経験を踏まえて、訳し間違いをしやすい語彙について説明する。辞書がなくても記事内容をおおまかに理解することができる（G1）。 ③予習（60分）第1回宿題型ミニ・テスト 2回目の授業で学んだ専門用語が出てくる記事を読み、短い和訳をつける問題。 ④復習（60分） 授業で学んだ語彙や表現方法を使って英文を作成する。	3	①授業テーマ 長文に慣れる（1） ②授業概要 2～3ページの英語の文献を読み、内容のポイントをつかむ(G1)。記事のキーワードを抜き出し、その記事の内容を日本語でおおまかに理解することができる（H1）。 第1回宿題型ミニ・テストのフィードバックを行う。 ③予習（60分） 英文の危機管理関係のレポートを辞書を使わずに読む。 ④復習（60分） 授業で使用した資料を読みなおし、単語を調べながら内容を確認する。
回	内容								
1	①授業テーマ 授業ガイダンス・問題演習。 ②授業概要 ガイダンスでは、授業の全体構成、授業の目的と進め方、到達目標、成績の評価方法について説明する（30分）。その後、短い文章を使って演習を行う。内容を確認し、日本語で要約を作成することができる(G1)。 ③予習（60分） シラバスを読み、授業全体の流れを確認する。 ④復習（60分） 授業を振り返り、授業の目的と到達目標に加え、本講座の受講目標をまとめる。								
2	①授業テーマ 専門用語 ②授業概要 危機管理に関する英語文献やニュースを読み、犯罪やテロ等に関する専門的な用語とその使い方を学ぶ。 担当教員の実務経験を踏まえて、訳し間違いをしやすい語彙について説明する。辞書がなくても記事内容をおおまかに理解することができる（G1）。 ③予習（60分）第1回宿題型ミニ・テスト 2回目の授業で学んだ専門用語が出てくる記事を読み、短い和訳をつける問題。 ④復習（60分） 授業で学んだ語彙や表現方法を使って英文を作成する。								
3	①授業テーマ 長文に慣れる（1） ②授業概要 2～3ページの英語の文献を読み、内容のポイントをつかむ(G1)。記事のキーワードを抜き出し、その記事の内容を日本語でおおまかに理解することができる（H1）。 第1回宿題型ミニ・テストのフィードバックを行う。 ③予習（60分） 英文の危機管理関係のレポートを辞書を使わずに読む。 ④復習（60分） 授業で使用した資料を読みなおし、単語を調べながら内容を確認する。								

4	①授業テーマ 長文に慣れる (2) ②授業概要 4～5ページの英語の資料を斜め読みし、ポイントをつかむ(G1)。その記事の内容を説明する短い文章を英語で作成することができる(H1)。 ③予習 (60分) 英語で書かれた4-5ページのレポートを辞書を使わず2度読む。 ④復習 (60分) 授業で使った資料を読み直し、斜め読みをしながらキーワードや重要な文章を再度確認する。
5	①授業テーマ プレゼンテーション資料の作り方 (1) ②授業概要 英語のプレゼンテーション資料の作成について学ぶ。 担当講教員の実務経験を踏まえて、海外でのプレゼン発表のポイントを伝える。英語と日本語のプレゼンテーションの違いを理解し、基本的な英語のプレゼンテーションを作成することができる (H1)。 ③予習 (60分) 第2回宿題型ミニ・テスト 英文資料を読み、内容を英語で要約する問題。 ④復習 (60分) プレゼンテーション資料作成のために必要なポイントを確認する。
6	①授業テーマ プレゼンテーション資料の作り方 (2) ②授業概要 資料を説明するためのプレゼンテーション資料を作成する。与えられた時間の中で効果的にプレゼンテーションを行うための資料を作成することができる (G1) (H1)。 第2回宿題型ミニ・テストのフィードバックを行う。 第1回課題の内容を伝える。7回目の授業で提出する。 ③予習 (60分) 国際機関の資料のキーワードや重要なポイントをまとめる。 ④復習 (60分) 授業で作成したプレゼンテーションを修正する。
7	①授業テーマ 英語文献の読解と要約 (1) ②授業概要 危機管理またはセキュリティに関連した論文を読む。キーワードや重要な文章を確認し、辞書を使用しながら日本語で内容を理解し、要約することができる (G1)。 第1回課題の提出日。 ③予習 (60分) 論文をしっかりと丁寧に読み込む。 ④復習 (60分) 論文で使用されている語彙や表現を確認する。
8	①授業テーマ 英語文献の読解と要約 (2) ②授業概要 第7回目授業と同じ論文を読み、要点を箇条書きすることができる(G1)。全体の要約を英語で書くことができる (H1)。 第1回課題のフィードバックを行う。 ③予習 (60分) 第3回宿題型ミニ・テスト 数ページの英語の資料を斜め読みし、その記事の内容を日本語で要約し、感想を英文で作成する問題。 ④復習 (60分) パワポ資料作成の復習および修正をする
9	①授業テーマ 英語文献の読解と要約 (3) ②授業概要 第3回宿題型ミニ・テストのフィードバックを行う。 新しい論文を斜め読みし、キーワードや重要な文章の確認を行う。英語で内容の要約ができ (H1)、感想を伝えることができる (H2)。 ③予習 (60分) 国際機関の条約や専門用語を図書館やインターネットで調べる ④復習 (60分) 新しい論文の中で使用されている語彙や表現方法を使って文章を作成する。
10	①授業テーマ 英語文献の読解と要約 (4) ②授業概要 国際機関の条約や各国の法律等を和訳する。条約や法律などの専門用語を的確に説明することができる (G1)。 ③予習 (60分)

	日本語の危機管理の文献を読み、ポイントを英語でイメージする。 ④復習（60分） 授業で扱った以外の国際機関の条約を和訳する。
11	①授業テーマ 国際的発信力の強化（1） ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、国際的に発信することの意義と重要性を伝える。各国の法律や日本語の論文を読み、要点を英語で箇条書きで表すことができ（G1）、全体を簡単に英語および日本語で説明することができる（G1）。キーワードや重要ポイントを英語で言い直すことができる（H1）。 ③予習（60分）第4回宿題型ミニ・テスト セキュリティに関する英文レポートを読み、英語で感想を書く問題。 ④復習（60分） 授業で扱った資料のキーとなる語彙や表現方法を英語にし、それらを使って文章を書く。
12	①授業テーマ 国際的発信力の強化（2） ②授業概要 第4回宿題型ミニ・テストのフィードバックを行う。 日本語の論文や英語の条約を読み、論文内容を英語の簡潔な文章にすることができる（H1）。 ③予習（60分） 日本の政府機関の文書を読み、内容を日本語で簡潔にまとめる。 ④復習（60分） 論文の要約方法について確認し、英語と日本語それぞれの要約の基本的な書き方を理解する。
13	①授業テーマ 国際的発信力の強化（3） ②授業概要 日本政府機関の文書を海外へ発信するための資料を英語で作成する。キーワードや重要ポイントを捉えたわかりやすい英語資料を作成し（H1）、自身の意見を英語で書くことができる（H1）（H2）。 第2回課題の内容を伝える。14回目の授業で提出する。 ③予習（60分） 危機管理に関する国内外の政府機関の資料を読む。 ④復習（60分） 授業で学んだ語彙や表現方法を使って英文を作成する。
14	①授業テーマ 国際的発信力の強化（4） ②授業概要 第2回課題の提出日。 日本と他国の政府機関文書を比較する。相違点をまとめ、比較表を英語で作成することができる（H1）。 ③予習（60分） 危機管理に関する国内外の政府機関資料を読む。 ④復習（60分） 比較した2国以外の国の政府機関文書を読み、3か国の比較表を作成する。
15	①授業テーマ コミュニケーション英語4で学習した内容の確認・まとめ ②授業概要 第2回課題のフィードバックを行う。 全14回の授業内で学習した内容の確認とまとめをする（G1）（H1）。 ③予習（60分） 14回の授業内容全体を再確認する。 ④復習（60分） 全授業の内容を振り返り、授業の感想を英語で書く。
関連科目	英語Ⅰ(RMGT/SSCS1701) 英語Ⅱ(RMGT/SSCS1702) 英語Ⅲ(RMGT/SSCS1703) 英語Ⅳ(RMGT/SSCS1704) 英語Ⅴ(RMGT/SSCS1705) 英語Ⅵ(RMGT/SSCS1706) 英語Ⅶ(RMGT/SSCS1707) 英語Ⅷ(RMGT/SSCS1708) TOEIC演習1(RMGT/SSCS1771) TOEIC演習2(RMGT/SSCS1772) TOEIC演習3(RMGT/SSCS1773) TOEIC演習4(RMGT/SSCS1774) コミュニケーション英語1(RMGT3341) コミュニケーション英語(RMGT3342) コミュニケーション英語(RMGT3343)
教科書	授業資料は毎回指示します。
参考書・参考URL	首相官邸HP: https://www.kantei.go.jp/ BBC News HP: https://www.bbc.co.uk/news

	CNN News HP: https://edition.cnn.com/ United Nations HP: http://www.un.org/en/
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント20%：パブリックセキュリティ30%：グローバルセキュリティ40%：情報セキュリティ10% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学80%：法学20%

